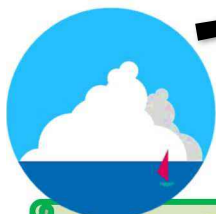


健康と環境を守る

保健環境センターだより



プラスチックごみを考える！ ～暮らしの中の環境学習～

企画情報部

海のプラスチックごみとわたしたちの暮らし

とても便利な素材で、私たちの暮らしを豊かにしているプラスチック。しかし、ポイ捨てなどで環境中に出してしまうと、やがて海を漂流し、マイクロプラスチックとなり、海の生き物だけでなく人間にも影響を及ぼすことが心配されています。

海のない栃木県のごみも、川を通じて影響します。海のプラスチックごみ問題は、わたしたちの暮らしの問題であることを考えてみましょう。



川の草に引っかかるレジ袋

落ちているプラスチックごみを調べてみよう

道端に、プラスチックごみが落ちているのをときどき見かけます。それらは、街を汚すだけでなく、雨等で川を下り、海を汚してしまいます。

プラスチックごみの例



どんな場所に、どんなプラスチックごみが、どれくらいあったか、観察してみましょう！また、捨てられるプラスチックごみを減らす工夫を、考えてみましょう。

< 観察記録の例 >

| 場所 | プラスチックごみの種類 大きさ、形など | 個数 |
|----|------------------------|----|
| ・ | ・ | ・ |
| ・ | ・ | ・ |
| | | |
| | | |



わたしたちにできること！

プラスチックは、主に石油から作られます。限られた資源を有効に使うために、使い捨てのプラスチック製品を、くり返し使えるもの(例:レジ袋→マイバク)にできないか考えてみましょう。

ポイ捨ては絶対にせず、プラスチックごみによる環境汚染を防ぎましょう。

また、ごみを出す時には、正しく分別して、リサイクルを進めましょう。

栃木県気候変動

適応
センター

HPは、こちら



かえでの紅葉が遅れてる？

宇都宮地方気象台の観測で、かえでの紅葉日の経年変化をみると、50年あたり、約16日遅くなっている傾向が現れているようです。(統計期間 1953年～2018年)

みなさんも、気候変動による影響を、身近な暮らしの中に見つけてみませんか？

出典：「気候変化レポート2018—関東甲信・北陸・東海地方—」東京管区気象台(平成31年3月発行)



川の生き物と水質

～水生生物調査～

水環境部



水のきれいさを 教えてくれる生き物たち

川にはたくさんの生き物がいますが、その中でもヒラタカゲロウやユスリカなどの川底に住む生き物は、川の水のきれいさ(水質)の目安となるのが、長年の調査でわかっています。

水の汚れと溶存酸素

川に住む生き物の種類は、水に溶けている酸素の量(溶存酸素量)と深い関係があります。それは、溶存酸素が少ない水でも生きられる生き物と、生きられない生き物がいるからです。

溶存酸素量は、水温や水の汚れの程度によって変わり、水が汚れると溶存酸素が少なくなります。これは、水中の汚れ(有機物)を食べる微生物が、有機物を食べるときに多くの酸素を使うからです。

私たちの生活排水に含まれる有機物が、川の水の汚れの原因の一つになっています。

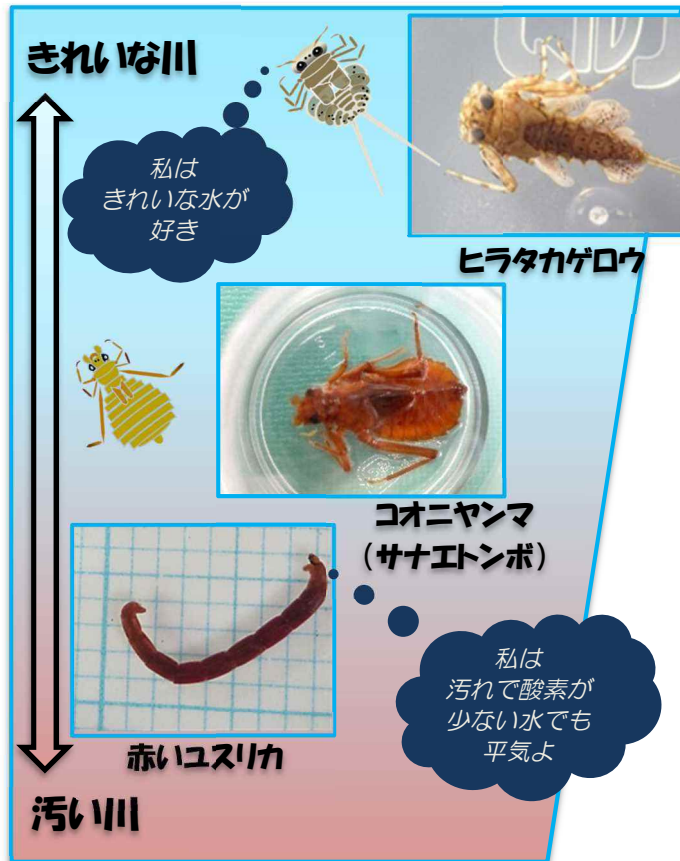


図2 水のきれいさと生き物の関係

水環境を守る

川の生き物による簡単な水質判定は、専門家でもできます※。川で遊ぶ時は、足元の石を裏返して、どのような生き物が暮らし、水の汚れはどうかを調べて、身近な水環境を見直してみましょう。

そして、台所では調理くずや油を流さないなど、毎日の暮らしの中でできることを心がけましょう。

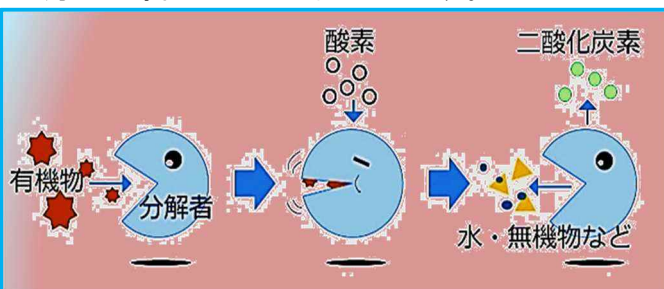


図1 有機物が分解される過程

生物学的水質判定とは

生き物で水質を判定する方法を「生物学的水質判定」と呼びます。この方法は、川に住む生き物を目安にするので、水を測ってわかるその時の水質ではなく、長期的な水質がわかることが特徴です。

水環境部では、この方法で水質を判定するため、水生生物調査を行っています。

発行 栃木県保健環境センター
〒329-1196 宇都宮市下岡本町 2145-13
TEL : 028-673-9070
FAX : 028-673-9071
E-mail : kenkou-kc@pref.tochigi.lg.jp
<栃木県保健環境センターホームページ>
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/e60/index.html>

※くわしい方法を知りたい方はこちら↓

https://www.mlit.go.jp/river/shishin_guideline/suisituhantei/text.pdf